

平成13年人口動態統計確定数について

本資料は、平成13年人口動態統計の確定値をとりまとめたものである。
（「平成13年人口動態統計月報年計（概数）」は平成14年6月に公表済みである。）

1 出生

出生数は117万662人で前年に比べ1万9885人減少し、出生率（人口千対）は9.3で前年を0.2ポイント下回った。

合計特殊出生率は1.33で、前年を0.03ポイント下回った。

2 死亡

死亡数は97万331人で前年に比べ8678人増加し、死亡率（人口千対）は7.7で前年と同率であった。

死因順位は1位が悪性新生物、2位が心疾患、3位が脳血管疾患となっており、前年と同順であった。

年齢調整死亡率（人口千対）は男6.2、女3.1で、前年を男女とも0.1ポイント下回った。

3 死産

死産数は3万7467胎で前年に比べ926胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は31.0で前年を0.2ポイント下回った。

4 婚姻

婚姻数は79万9999件で前年に比べ1861件増加し、婚姻率（人口千対）は6.4で前年と同率であった。

5 離婚

離婚数は28万5911件で前年に比べ2万1665件増加し、離婚率（人口千対）は2.27で前年を0.17ポイント上回った。

平成13年 人口動態統計（確定数）の概況

目 次

調査の概要	-----	1
結果の概要	-----	2
(統計表)		
第1表	人口動態総覧 -----	3
第2表-1	人口動態総覧の年次推移 -----	4
第2表-2	人口動態総覧（率）の年次推移 -----	6
第3表-1	人口動態総覧，都道府県（13大都市再掲）別 -----	8
第3表-2	人口動態総覧（率），都道府県（13大都市再掲）別 -----	10
第4表	性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合 -----	12
第5表	死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対） -----	13
(別表)	日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態 -----	16
付表	諸率の算出に用いた人口 -----	17
厚生労働省ホームページ掲載表一覧	-----	18

ホームページ掲載（ダウンロード可）について

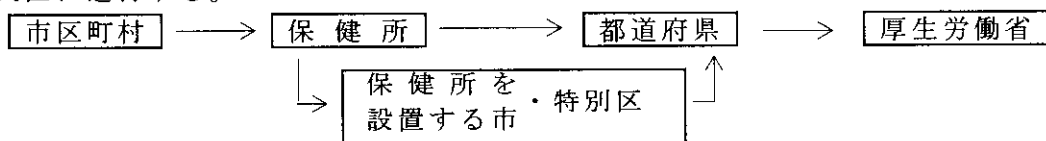
本資料を含む主要統計表（P18参照）は厚生労働省ホームページに掲載しています。

掲載場所：「統計情報」→「最近公表の統計資料」→「平成13年人口動態統計（確定数）の概況」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei01/index.html>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象 「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成13年に日本において発生した日本人の事象を集計したものである。
- 3 調査の期間 平成13年1月1日から平成13年12月31日
- 4 調査の方法及び報告経路

市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成し、これを保健所長、都道府県知事を経由し、厚生労働大臣に送付する。



- 5 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

利用上の注意

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数 集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のもを含む 公表：毎月 (調査月の約2か月後)	数値：概数 集計客体：日本における日本人(前年以前発生ものを除く) 公表：毎月 (調査月の約5か月後) : 毎年(年間合計) (調査年の翌年6月ころ)	数値：確定数 (概数に修正を加えたもの) 集計客体：日本における日本人(日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲) 公表：毎年 (調査年の翌年9月ころ)

報告書 (刊行は平成15年2~3月ころ)

- 上巻 (人口動態調査の概要及び解析を集録)
- 中巻 (出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を集録)
- 下巻 (死因に関する統計表を集録)

- 2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

- 3 用語の解説

- 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳児死亡：生後1年末満の死亡
- 新生児死亡：生後4週末満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週末満の死亡
- 死産：妊娠満12週以後の死産の出産
- 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を合わせたもの

結 果 の 概 要

1 出生数は減少

出生数は117万662人で、前年の119万547人より1万9885人減少し、出生率（人口千対）は9.3で、前年の9.5を下回った。
合計特殊出生率は1.33で、前年の1.36を下回った。

2 死亡数は増加

死亡数は97万331人で、前年の96万1653人より8678人増加し、死亡率（人口千対）は7.7で、前年と同率であった。
悪性新生物の死亡数は30万658人、死亡率（人口10万対）は238.8で、死亡総数の31.0%を占めており、死因順位の第1位となっている。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患となっている。
年齢調整死亡率（人口千対）は男6.2、女3.1で、前年の男6.3、女3.2をそれぞれ下回った。

3 自然増加数は減少

自然増加数は20万331人で、前年の22万8894人より2万8563人減少し、自然増加率（人口千対）は1.6で、前年の1.8を下回った。

4 死産数は減少

死産数は3万7467胎で、前年の3万8393胎より926胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は31.0で、前年の31.2を下回った。

5 婚姻数は増加

婚姻数は79万9999件で、前年の79万8138件より1861件増加し、婚姻率（人口千対）は6.4で、前年と同率であった。

6 離婚数は増加

離婚数は28万5911件で、前年の26万4246件より2万1665件増加し、離婚率（人口千対）は2.27で、前年の2.10を上回った。

(統計表)
第1表 人口動態総覧

	実数			率 ¹⁾		平均発生間隔	
	平成13年	平成12年	対前年増減	平成13年	平成12年	平成13年	平成12年
						分 秒	分 秒
出生	1 170 662	1 190 547	△ 19 885	9.3	9.5	27"	27"
男	600 918	612 148	△ 11 230	9.8	10.0	52"	52"
女	569 744	578 399	△ 8 655	8.9	9.0	55"	55"
死亡	970 331	961 653	8 678	7.7	7.7	33"	33"
男	528 768	525 903	2 865	8.6	8.6	1' 00"	1' 00"
女	441 563	435 750	5 813	6.9	6.8	1' 11"	1' 13"
(再掲)							
乳児死亡	3 599	3 830	△ 231	3.1	3.2	146' 2"	137' 37"
新生児死亡	1 909	2 106	△ 197	1.6	1.8	275' 20"	250' 15"
自然増加	200 331	228 894	△ 28 563	1.6	1.8	…	…
死産	37 467	38 393	△ 926	31.0	31.2	14' 2"	13' 44"
自然死産	15 704	16 200	△ 496	13.0	13.2	33' 28"	32' 32"
人工死産	21 763	22 193	△ 430	18.0	18.1	24' 9"	23' 45"
周産期死亡	6 476	6 881	△ 405	5.5	5.8	81' 10"	76' 36"
妊娠満22週以後の死産	5 114	5 362	△ 248	4.3	4.5	102' 47"	98' 18"
早期新生児死亡	1 362	1 519	△ 157	1.2	1.3	385' 54"	346' 58"
婚姻	799 999	798 138	1 861	6.4	6.4	39"	40"
離婚	285 911	264 246	21 665	2.27	2.10	1' 50"	2' 00"

	平成13年	平成12年
合計特殊出生率 ²⁾	1.33	1.36
年齢調整死亡率 ³⁾ 男	6.2	6.3
女	3.1	3.2

- 注 1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産(出生+死産)千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率(人口千対)は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口)にあてはめて算出した指標である。

第2表-1 人口動態総覧の年次推移

年次 ¹⁾	出生数	死亡数	(再 乳児死亡数	掲) 新生児 死亡数	自然増加数
昭和22年	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
平成元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

3) (参考)の周産期死亡数は妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。

平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

4) 昭和23年、24年には自然・人工の不詳を含む。なお、*印は概数である。

(参考)

死 産 数			周 産 期 死亡数 ²⁾	婚 姻 件 数	離 婚 件 数	周 産 期 死亡数 ³⁾	年 次
総 数	自 然	人 工					
123 837	934 170	79 551	...	昭和22年
⁴⁾ 143 963	*104 325	*31 055	...	953 999	79 032	...	23
⁴⁾ 192 677	*114 161	*75 585	...	842 170	82 575	...	24
216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689	108 843	25
217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331	99 865	26
203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021	91 527	27
193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255	85 932	28
187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759	79 776	29
183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267	75 918	30
179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040	75 706	31
176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651	70 502	32
185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004	72 625	33
181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455	69 912	34
179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410	66 552	35
179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323	65 063	36
177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394	62 650	37
175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996	60 049	38
168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306	56 827	39
161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195	54 904	40
148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432	42 583	41
149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478	50 846	42
143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327	45 921	43
139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280	43 419	44
135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937	41 917	45
130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595	40 900	46
125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382	38 754	47
116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877	37 598	48
109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622	34 383	49
101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135	30 513	50
101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512	27 133	51
95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485	24 708	52
87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146	22 217	53
82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250	20 481	54
77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689	18 385	55
79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221	16 531	56
78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980	15 303	57
71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150	14 035	58
72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746	12 998	59
69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640	11 470	60
65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054	10 148	61
63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227	9 317	62
59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600	8 508	63
55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811	7 450	平成元年
53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608	7 001	2
50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969	6 544	3
48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191	6 321	4
45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297	5 989	5
42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106	6 134	6
39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016	5 526	7
39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955	5 321	8
39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635	4 974	9
38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183	4 927	10
38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529	4 665	11
38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246	4 562	12
37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911	4 238	13

第2表-2 人口動態総覧(率)の年次推移

年次 ¹⁾	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増加率 (人口千対)	死産率 ²⁾ (出産千対)	自然死産率	人工死産率
昭和22年	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	*36.9	*10.9
24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	*39.1	*25.9
25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。なお、*印は概数による率である。

3) 周産期死亡率は周産期死亡数を出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

4) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

周産期 死亡率 ³⁾ (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率 ⁴⁾	年齢調整死亡率 ⁵⁾ (人口千対)		周産期 死亡率 ⁶⁾ (出生千対)	年次
				男	女		
...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...	昭和22年
...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...	23
...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...	24
...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6	25
...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7	26
...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6	27
...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0	28
...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1	29
...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9	30
...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5	31
...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0	32
...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9	33
...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0	34
...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4	35
...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9	36
...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7	37
...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2	38
...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1	39
...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1	40
...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3	41
...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3	42
...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5	43
...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0	44
...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7	45
...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4	46
...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0	47
...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0	48
...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9	49
...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0	50
...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8	51
...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1	52
...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0	53
21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5	54
20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7	55
19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8	56
18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1	57
16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3	58
16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7	59
15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0	60
14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3	61
13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9	62
12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5	63
12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0	平成元年
11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7	2
8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3	3
8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2	4
7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0	5
7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0	6
7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7	7
6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4	8
6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2	9
6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1	10
6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0	11
5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8	12
5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6	13

5) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。

6) (参考)の周産期死亡率は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除したものである。平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。